

福島県三春の偉人に佐久間庸軒^{ようけん}という方がいたことを知り、私の本名である佐久間庸和と一字違いであることから不思議な因縁を感じ、わが歌詠みの雅号としました。

庸軒の名で短歌を詠みだしてから、「言霊^{ことばたま}」つまり言葉の持つ不思議な力のせい、万事が順調に進んでいるような気がします。

なにぶん商売人の身で、なかなか花鳥風月を詠んで風雅の世界に遊ぶというわけにはいかず、もっぱら会社や仕事に関する話材で歌を詠んでおります。

このたび、かの弘法大師の作とされる「いろは歌」にあわせて自作の短歌を揃えてみました。江戸時代に石田梅岩が開き、商人のあいだで盛んになった「心学」では、人の道を説く教訓の歌として「道歌」が多く詠まれました。この「いろは歌」の中には、道歌をめざして作られたものもたくさん入っています。

株式会社サンレー 代表取締役社長 佐久間 庸和

庸軒短歌サイト <http://www.ichijyo-shinya.com/tanka.html>